

第十七号



大盛況！「あつみ温泉摩耶山新酒まつり」

3月5日（土）あつみ温泉朝市広場で「第5回あつみ温泉摩耶山新酒まつり」が行われ、過去最多の500名を超える来場者で賑わいました。

越沢の摩耶山の伏流水「郷清水」で栽培された「はえぬき」を使って醸造される「摩耶山」は、温海地域の酒屋さんで作る「酒徳会」が企画したもので、今年で発売10周年を迎え、いまや「温海の酒」として多くの方に親しまれ、年々ファンを増やしています。

晴天に恵まれた会場内では「摩耶山」の新酒が格安で振る舞われ、温海地域の人気飲食店が美味しいものを販売、鼠ヶ関出身の演歌歌手佐藤善人さんのミニコンサートや温海音頭と越沢音頭の踊り、お楽しみ抽選会などが行われました。飲食ブースは満員で「いつもこの位人が来ればいいのに」という声があちらこちらで聞かれました。

あつみ温泉では朝市の賑わいを取り戻そうと、朝市ブースの昼の部出店や朝市広場を利用したイベントに取り組んでおり、新たな企画が期待されるそうです。「摩耶山」は温海地域限定販売となっておりますので、購入希望の方は地元の酒屋さんにお問い合わせください。



こちら也大賑わい！ 鶴岡寒鱈まつり

2月11日（木）江戸川区船堀駅前前で鶴岡寒鱈まつりが行われ、旬の寒鱈汁や鶴岡の特産物の販売に多くの来場者が訪れました。

天候にも恵まれたこの日は、開始前から船堀駅まで行列ができ、急遽販売開始を30分早めるほどの盛況となりました。

会場にはふるさと温海会の会員も多く訪れ、ところどころで懐かしい温海弁が聞かれる中、ふるさと温海の冬の味覚、熱々の「寒鱈汁」を楽しんでいました。

山伏も鶴岡をPR

今年は鶴岡市の姉妹都市である北海道木古内町の物産展が初めて行われ、3月の北海道新幹線開通を目前に張り切っていました。



福栄地域協議会「福の里」



福栄地域には南北に走る国道345号線にそって、北から菅野代、温海川、木野俣、越沢、関川の5つの集落が点在します。戸数約280戸、人口約1,000人。「福栄衆」は人の繋がりを大切に暮らしています。福栄衆自らが地域の宝やさまざまな出来事を紹介していくWebサイトの紹介です。

木野俣の昔料理を食べる会

本日のお料理の内容は・・・

- かぶのタコ煮 ●青ごみ（かくま）のごま和え
- ぜんまいの煮物 ●どんぐり（イタドリ）の煮物
- びよびよ（かんぞう）のおひたし
- わらびのおひたし ●よもぎとふきのとうの天婦羅
- 赤みずとサバ缶のお味噌汁 ●赤カブの漬物二種
- みょうがの甘酢漬け ●佐藤小一さんが作った特別栽培米つや姫

<http://fukuesho.jp/>

この様にローカルでほのぼのとした情報がいっぱいありますので、是非のぞいてみてください。



第50回 あつみ温泉ばら園まつり

約90種、3,000本のばらが植えられ、庄内唯一の歴史あるばら園として多くの方々に親しまれているあつみ温泉ばら園。あつみ観光協会主催のばら園まつりが、今年でついに半世紀の節目を迎えました。見事に咲き誇るばらの花と記念企画でみなさまをおもてなしします！

- ◆開催期間：6月11日（土）～26日（日）
- ◆会場：あつみ温泉ばら園
- ◆開催期間中の午前10時～午後4時にお休み処と特産品販売所を開設します
- ◆問合せ：あつみ観光協会 TEL:0235-43-3547



記念企画 6月12日(日) 午前11時～

- ・ばらを楽しむお茶会（野点）料金300円
雨天時：あつみ温泉朝市広場
 - ・フラワーアート教室 料金100円
 - ・ばら園クエスト 参加無料
- ばら園内をめぐって指定品種を探すゲームで、参加者にはステキなプレゼントをご用意。さらに正解者には抽選で温海地域の特産品があたるチャンスもあります。午前10時～午後2時まで随時受付します。カメラまたは、カメラ付き携帯電話をご持参ください。

山形・庄内に息づく能楽の祭典 せせらぎの能

山五十川地区に数百年に渡り伝承されている県指定無形民俗文化財「山戸能」と櫛引地域に伝わる国指定重要無形民俗文化財「黒川能」の野外能楽。7回目となる今年は、開催時期を6月に変更して開催します。温海川のせせらぎの音と幻想的な能楽のコラボをご堪能ください。

- ◆開催日時：6月25日（土）午後3時～
- ◆会場：あつみ温泉「温海川特設舞台」
- ◆プログラム：
 - 午後3時 アトラクション あつみ保育園鼓隊ほか
 - 午後5時 オープニング 念珠閣辨天太鼓子供会ほか
 - 午後6時30分 開会セレモニー
 - 午後7時 山戸能 「式三番（しきさんばん）」
 - 午後8時 黒川能上座 能「皇帝（こうてい）」
- ◆有料観覧席 料金1,000円ワンドリンク付 先着150名
- ◆問合せ：あつみ観光協会 TEL:0235-43-3547



あとがき 春と言えば人事異動、私もこの「ふるさと通信」をお届けして4年目になりますが、この度異動となったことから、今回が最後の「ふるさと通信」となります。会員の皆さんに少しでもふるさとの様子を伝えようとして努力してきましたが、発行のたびに皆さんから色々なご意見をいただき、励みになりました。ありがとうございました。温海も人口が減少し、この4月には7,800人台まで減少しています。しかし、住民はこの温海を賑やかにしようと日々頑張っていますので、ふるさと温海会の皆さんのこれまで以上のご支援、ご協力をお願いします。

【鶴岡市温海庁舎市民福祉課長 五十嵐浩一】

新しい担当職員を紹介します。2人とも旧鶴岡在住ですが、新たな視点で情報をお届けすることができますのでよろしくをお願いします。

【ふるさと温海会事務担当 総務企画課 主事 大滝直人】 【ふるさと通信担当 総務企画課 専門員 五十嵐崇】

※連絡先 〒999-7205 山形県鶴岡市温海戊577-1 鶴岡市温海庁舎総務企画課
電話 0235-43-4611 FAX 0235-43-4632 メール somu-at@city.tsuruoka.yamagata.jp